

試験研究発表題名, 組織, 情報, その他

試験研究発表題名一覧表

昭和60年度 試験研究発表題名一覧表

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
支 場 長	観賞緑化樹木の害虫 (8) —クスノキ・タブノキ—	喜多村 昭 井ノ上二郎 小林富士雄	農業および園芸	60 (4)	巻 頭	60. 4
	観賞緑化樹木の害虫 (9) —イスノキ・トベラ・アジサイ—	滝沢 幸雄 小林富士雄	〃	60 (5)	巻 頭	60. 5
	観賞緑化樹木の害虫 (10) —ユキヤナギ・カナメモチ・カ イドウ・ボケ・シャリンバイ—	滝沢 幸雄 小林富士雄	〃	60 (6)	巻 頭	60. 6
	観賞緑化樹木の害虫 (11) —サクラ①—	小林富士雄 井ノ上二郎	〃	60 (7)	巻 頭	60. 7
	観賞緑化樹木の害虫 (12) —サクラ②—	小林富士雄 滝沢 幸雄	〃	60 (8)	巻 頭	60. 8
	観賞緑化樹木の害虫 (13) —アカシア・ニセアカシア・ネ ムノキ—	小林富士雄 松枝 章 井ノ上二郎	〃	60 (9)	巻 頭	60. 9
	林地の環境生物に及ぼす影響の 解明 1-(1)昆虫相に及ぼす影響	小林富士雄 山崎 三郎 竹谷 昭彦 植原 寛	農林水産技術会議 事務局研究成果 有機合成 (有機り ん) 殺虫剤の環境 生物に及ぼす影響 と代替技術としての の害虫誘引物質の 開発利用に関する 研究	168	13~26	60. 9
	総合研究の動向 —マツノザイ センチュウによるマツ枯損に関 する研究—	真宮 靖治 小林富士雄	林試80年のあゆみ		188~192	60. 9
	専門別試験研究の動向 —保護部門— 昆虫	小林富士雄	〃		71~78	60. 9
	スギ・ヒノキ穿孔性害虫による スギ品種別被害実態 —東京大 学樹芸研究所スギ品種別植栽試 験林の実態—	山崎 三郎 山根 明臣 小林富士雄 他 9 名	第96回日本林学会 大会発表論文集		515~516	60. 10
	害虫防除と生態学 —森林害虫 の総合管理—	小林富士雄	植物防疫	39(10)	467~474	60. 10
	ヒノキ研究の必要性	小林富士雄	緑化と苗木	51	2	60. 10
	茨城県海岸クロマツ林のまつの しんくい虫被害実態	山崎 三郎 山根 明臣 小林富士雄 萩原 実 西野トシ子 池田 俊弥 前藤 薫	第96回日本林学会 大会発表論文集		493~494	60. 10
	観賞緑化樹木の害虫 (15) —ツゲ・モチノキ・イヌツゲ・ ウメモドキ—	小林富士雄 横溝 康志	農業および園芸	60(11)	巻 頭	60. 11
	家屋の害虫ヒラタキクイムシの 対策	小林富士雄	日本医事新報	3210	136~137	60. 11
	観賞緑化樹木の害虫 (16) —ニシキギ・マユミ・マサキ—	小林富士雄	農業および園芸	60(12)	巻 頭	60. 12
	観賞緑化樹木の害虫 (17) —カエデ・トチノキ—	小林富士雄 横溝 康志	〃	61 (1)	巻 頭	61. 1
	侵略者の恐ろしさ —なぜ松枯れは続く—	小林富士雄	割りばしと法隆寺 (滝島恵一郎編)		24~27	61. 1

昭和60年度林業試験場関西支場年報№27

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
	スギ・ヒノキのせん孔性害虫	小林富士雄	林業改良普及叢書 (全国林業改良普及協会)	92	185	61. 1
	風倒地における生立木虫害防止のためのフェロモンによる誘殺試験	小林富士雄 吉田 成章 小泉 力治 秋田 研二 福山 明臣 山根 俊弥 池田 俊弥	昭和59年度国有林 野事業特別会計技 術開発試験成績報 告書(完了分)		179~209	61. 2
	林業薬剤の環境に及ぼす影響と合理的使用法 —散布跡地—	小林富士雄 田畑 勝洋 土方 康次 高野 肇 山崎 三郎	//		213~226	61. 2
	地域研究の取り組みについて —都市近郊林問題を例として—	小林富士雄	林業試験場場報	259	1	61. 2
	観賞緑化樹木の害虫(18) —ムクゲ・フヨウ・アオギリ—	小林富士雄	農業および園芸	61 (2)	巻 頭	61. 2
	観賞緑化樹木の害虫(19) —ツバキ・サザンカー—	滝沢 幸雄 小林富士雄	//	61 (3)	巻 頭	61. 3
育林部長	ヒノキさし木造林木の幹形質	大山 浪雄 角園 敏郎 高木 哲夫 中島 精之	日本林学会九州支 部研究論文集	38	79~80	60. 9
	寄田海岸クロマツ林における16年間のマツ枯損率の推移	大山 浪雄 高木 哲夫 白石 進 森田 栄一	//	//	171~172	60. 9
	ヒノキさし木造林木の樹幹形質	大山 浪雄 中島 精之	日本林学会関西支 部第36回大会講演 集		137~140	60. 10
	枝張りの狭いヒノキについて 災害から森林を守る(6)干害	大山 浪雄 大山 浪雄	天然しほの研究 林業新知識	8 388	23~27 9	60. 10 61. 3
造 林	アカマツとヒノキの混交による 林分の物質生産の増大	山本久仁雄 河原 輝彦	林業試験場創立80 周年記念最近の研 究成果選集			60. 9
	熱帯早生樹種の生長解析	加茂 皓一	//			60. 9
	利用間伐に関する研究(1) 間伐前後の現存量と光環境	山本久仁雄 河原 輝彦 加茂 皓一	日本林学会関西支 部第36回講演集		127~130	60. 10
	モウソウ竹林の再生(Ⅱ) 処理後3年間の地上部純生産量 の推定	河原 輝彦 加茂 皓一 井鷲 裕司	//		145~148	60. 10
	若齢ヒノキ林の間伐後4年間の リターフォール量	河原 輝彦 加茂 皓一 山本久仁雄	林業試験場関西支 場年報	26	12	60. 10
	コナラ萌芽試験林の林分構造と 現存量	加茂 皓一 河原 輝彦 山本久仁雄	//	26	13	60. 10
	間伐試験地における間伐後の林 内光環境	山本久仁雄 河原 輝彦 加茂 皓一	//	26	14	60. 10
	異なる林内照度下におけるフタ バガキ科雑樹の生長	鈴木 健敬 ドミンゴ・ ハカルネ	日本林学会誌	67-10	404~407	60. 10

試験研究発表題名一覧表

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
	ミヤコザサのデンプン量及び、 無機養分量の季節変化	河原 輝彦 市川 孝義 加茂 皓一	Bamboo Journal	3	1~6	60. 11
	フィリピンにおけるタケ類の栽培試験	鈴木 健敬 ドミンゴ・ハカルネ	//	3	47~56	60. 11
	森林生態系における炭素の循環— リターフォール量とその分析 速度を中心にして—	河原 輝彦	林業試験場研究報告	334	21~52	60. 11
	Response of Dipterocarp Seedling to Various Light Conditions under Forest Canopies	鈴木 健敬	//	336	19~34	61. 3
	Some examples of biomass and production on fast growing tree species and pine species stands in the Philippines	加茂 皓一 太田 誠一	海外林業部門業務報告書		12~22	61. 3
経 営	昭和59年度しいたけ原木需給安定委託調査（九州・四国・中国地域）	黒川 泰亨	林野庁発行		171~249	60. 3
	住宅着工動向から将来の木材需要を占う	岩水 豊	天然しほの研究	7	49~51	60. 4
	構造不況下における吉野林業の実態と経営者の意識動向—指導的経営者の意識と苦悩—	岩水 豊	//	7	13~25	60. 4
	「書評」（木材流通とは—国産材時代への戦略—中川藤一著）	岩水 豊	//	7	25	60. 4
	「書評」（転換期の林業—山村問題—鷲尾良司・奥地正編著）	黒川 泰亨	農林業問題研究	No. 79 21-2	51~52	60. 6
	徳島県那賀川流域製材業の実態と課題	黒川 泰亨	林業試験場関西支場年報	26	19	60. 9
	収穫予定におけるリスク処理の影響についての検討	黒川 泰亨	//	26	17	60. 9
	新林業構造改善事業計画診断書（オガコ及び木質系堆肥生産施設の設置事業—三重県御浜町森林組合）	黒川 泰亨 白井 喬二	全国林業構造改善協会		1~38	60. 9
	林業経営計画に対する多段階線形計画法の適用について	黒川 泰亨	日本林学会関西支部第36回大会講演集		16~19	60. 10
	生産性・収益性・国際競争力からみたわが国林業	黒川 泰亨	第36回日本林学会関西支部大会シンポジウム資料		17~30	60. 10
	天然絞丸太木材利用の将来像	岩水 豊	天然しほの研究	8	44~45	60. 10
	小田町森林組合の躍進とこんどの事業展開—構造不況をどう切抜けるか—	岩水 豊	//	8	28~35	60. 10
	構造不況下における吉野林業の実態と経営者の意識動向—指導的経営者の意識と苦悩—	岩水 豊	林業試験場関西支場年報	26	16	60. 10
	久万地方における天然絞クロンの成長調査について	岩水 豊	天然しほの研究	8	39~43	60. 10
	スギの間伐試験地における直径生長	長谷川敬一	日本林学会関西支部第36回講演集		36~39	60. 10
	収穫試験地の調査結果（Ⅲ）	長谷川敬一	林業試験場関西支場年報	26	47~52	60. 10
	関東地方のスギ林分の直径分布について	家原 敏郎 椎林 俊昭 西川 匡英	第96回日本林学会大会発表論文集		137~138	60. 10

昭和60年度林業試験場関西支場年報№27

研究室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
	久万地方における天然絞の品種別成長と絞の形成	岩水 豊	'85 天然絞と秀太材に関する研究発表会		29~32	60. 11
	林業経済研究の課題と日本林業の発展方策	黒川 泰亨	林業経済	447	2~4	61. 1
	構造不況下近畿地方における専門的林業経営の実態と経営者の意識動向—経営危機深まる近畿の林業—	岩水 豊	関西・経営	20	60	61. 3
	地域の素材供給量の予測システム(Ⅲ)—細りと林分特性の関係について—	家原 敏郎 椎林 俊昭 西川 匡英	第37回日本林学会 関東支部大会発表 論文集		35~36	61. 3
	地域の素材供給量の予測システム(Ⅳ)—プロビット変換による広葉樹バイオマス利用率表の作成—	神戸 喜久 家原 敏郎 西川 匡英	//		37~38	61. 3
土 壌	近畿・中国の森林土壌	西田 豊昭 白井 喬二 吉岡 二司 衣笠 忠司	林業試験場関西支場年報	26	22	60. 10
	モウソウチク・マダケおよびハチクの化学的組成	西田 豊昭 白井 喬二	日本林学会関西支部第36回講演集		106~109	60. 10
	林地肥培	衣笠 忠司 白井 喬二	林業試験場関西支場年報	26	24	60. 10
	森林土壌の水環境	吉岡 二司	//	26	23	60. 10
	森林土壌の土壌水分に関する研究(6)—積雪下土壌の水湿状態—	吉岡 二司 北中 外弘	日本林学会関西支部第36回大会講演集		92~95	60. 10
	Past vegetation on volcanic ash forest soil I —Pollen analysis of the Black soils, Brown forest soils and Podzolic soil in Hakoda mountain—	河室 公康 鳥居 厚志	林業試験場研究報告	337	69~89	61. 3
防 災	松くい虫による松枯れが流出に及ぼす影響	阿部 敏夫 谷 誠	日本林学会誌	67-7	261~270	60. 7
	樹冠遮断のエネルギー収支特性	服部 重昭	//	67-9	358~365	60. 9
	The effects of soil physical properties on the groundwater-table rise	谷 誠	Proceedings of the international symposium of erosion, debris flow and disaster prevention		361~365	60. 9
	地下水面の上昇に及ぼす土壌物理条件の影響	谷 誠	砂防に関する国際シンポジウム論文集		303~306	60. 9
	冠雪害抵抗性の要因説明—樹幹形の解析—	谷 誠 阿部 敏夫 服部 重昭	林業試験場関西支場年報	26	28	60. 10
	竹林における林冠通過雨量と竹稈流下量	阿部 敏夫 谷 誠 服部 重昭	//	26	27	60. 10
	松くい虫による松枯損の直接流出への影響	服部 重昭 阿部 敏夫 谷 誠 小林 忠一	//	26	26	60. 10
	冠雪による折損に樹幹形状が及ぼす影響	谷 誠 阿部 敏夫 服部 重昭 片岡 孝	第96回日本林学会大会発表論文集		443~446	60. 10

試験研究発表題名一覧表

研 究 室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
	寡雨地帯の育林技術	小林 忠一 島村 秀子	林業試験場関西支 場年報	26	45	60. 10
	竹冠の雨水貯留量の推定	阿部 敏夫 服部 重昭 谷 誠	//	26	65~69	60. 10
	竜の口山森林理水試験地にお ける研究の成果と今後の展望	谷 誠 阿部 敏夫	//	26	59~64	60. 10
	山地流域の流出特性を考慮した 一次元鉛直不飽和浸透流の解析	谷 誠	日本林学会誌	67-11	449~460	60. 11
	災害発生時の降雨条件の検討	谷 誠	山地災害危険地対 策事業調査報告書		106~137	60. 12
	エネルギー収支からみた森林蒸 発散	服部 重昭	水利科学	166	1~23	60. 12
	ヒノキ林地の放射収支(Ⅱ)放 射量の季節変化と放射収支特性	服部 重昭	日本林学会誌	68-2	51~60	61. 2
	ガンピ「高級和紙原料として最 高,栽培の成功が鍵」	小林 忠一	山村を生かすデザ イン集		232~235	61. 3
樹 病	マツの接種枝におけるマツノザ イセンチュウとニセマツノザ イセンチュウの分布と組織学的変 化(英文)	田村 弘忠 遠田 暢男	「マツノザイセン チュウ病に対する 抵抗性機構に關す るセミナー論文 集」V.ドロップキ ン編		98~109	59. 5
	北海道の森林における土壌動物 の研究	北沢 右三 田村 弘忠 山内 克典 新島 溪子 遠藤 文枝	Edaphologia	33	40~47	59. 8 60. 10
	マツの材線虫病の発病との関連 でみた2種の類縁線虫,マツノ ザイセンチュウのニセマツノザ イセンチュウのマツ苗中での分 散と増殖(英文)	小谷 圭司 佐々木 恵彦 山本 直樹 西山 嘉彦 田村 弘忠	日本林学会誌	67	398~403	60. 10
	線虫接種したマツ樹体における 色素上昇	田村 弘忠 峰尾 一彦	日本林学会関西支 部第36回大会講演 集		250~251	60. 10
	マツノザイセンチュウのマツ樹 体への侵入数と分散について	峰尾 一彦	林業試験場関西支 場年報	26	32	60. 10
	マツノマダラカミキリからマツ ノザイセンチュウの離脱と樹体 侵入(第3報)	峰尾 一彦	日本林学会関西支 部第36回大会講演 集		247~249	60. 10
	ヒノキ樹脂腺枯病の病斑の分布 と材斑の形成	山田 利博	//		259~261	60. 10
	マツノザイセンチュウ接種枝に おける組織反応	田村 弘忠 山田 利博 峰尾 一彦	日本植物病理学会 報	52	135	61. 1
	スギ木部の変色に伴う移行帯の 組織反応	山田 利博 田村 弘忠 峰尾 一彦	//	52	134~135	61. 1
	Absorption Translocation and Metabolism of Isophenphos in Japanese cypress seedlings.	上路 雅子 富沢長次郎 田畑 勝洋	J. Pesticide Sei.	10	703~711	60. 3
昆 虫	ノウサギの食害機構に関する研 究(予報)造林木の食害発生時 期と選択性	山田 文雄	日本林学会誌	67-6	243	60. 6

昭和60年度林業試験場関西支場年報№27

研究 室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
	有機合成（有機リン）殺虫剤の環境生物に及ぼす影響と代替技術としての害虫誘引物質の開発利用に関する研究（1）へい死昆虫の農薬付着量	田畑 勝洋 山崎 三郎	農林水産技術会議事務局研究成果	168	50～53	60. 9
	有機合成（有機リン）殺虫剤の環境生物に及ぼす影響と代替技術としての害虫誘引物質の開発利用に関する研究（2）野鳥の生理機能に及ぼす影響と薬剤残留量	田畑 勝洋 高野 肇	//	168	53～56	60. 9
	有機合成（有機リン）殺虫剤の環境生物に及ぼす影響と代替技術としての害虫誘引物質の開発利用に関する研究（3）野鳥の生息密度および生理機能に及ぼす影響	田畑 勝洋 北原 英治	//	168	51～59	60. 9
	マツ類の枯損防止（2）マツノマダラカミキリとマツノザイセンチュウ保持数	細田 隆治 小林 一三	林業試験場関西支場年報	26	37	60. 10
	スギ・ヒノキ穿孔性害虫（2）人工飼料によるスギカミキリの飼育と発育経過	細田 隆治	//	26	40	60. 10
	スギカミキリ成虫および卵の低温貯蔵	細田 隆治	日本林学会関西支部第36回大会講演集		229	60. 10
	京都地方におけるカラフトヒゲナガカミキリの生態（1）一発生およびザイセンチュウの保持状況	吉田 隆夫 細田 隆治	//		240～243	60. 10
	マツ枯損防止に関する新防除技術開発のための発病機構の解明（1）マツ林分の環境条件の解析	小林 一三 細田 隆治 伊藤 賢介	林業試験場関西支場年報	26	36	60. 10
	マツ枯損防止に関する新防除技術開発のための発病機構の解明（2）被害伝播・拡大に関連する生物的要因	小林 一三 細田 隆治 伊藤 賢介	//	26	36	60. 10
	管内獣害発生状況調査	北原 英治	//	26	42	60. 10
	西日本における野ネズミの個体群動態	北原 英治 山田 文雄	//	26	44	60. 10
	Alpha-chlorohydrinの日本産ハタネズミへの効果について	北原 英治	日本林学会関西支部第36回大会講演集		283～285	60. 10
	ノウサギによるヒノキ造林木の被害量、生息密度および林床植生の関係	山田 文雄 北原 英治	//		279～282	60. 10
	野兎個体群の動態に関する研究	山田 文雄 北原 英治	林業試験場関西支場年報	26	43	60. 10
	カモシカ・シカによるヒノキ造林木食害の調査結果	山田 文雄 北原 英治 黒川 泰亨	//	26	53～58	60. 10
	マツ類の枯損防止（3）マツノマダラカミキリの卵巣寄生性線虫と産卵能力の関係	伊藤 賢介	//	26	37	60. 10
	スギカミキリの行動習性ならびに林内成虫個体群の消長（1）フライトミルによるスギカミキリの飛翔能力の測定	伊藤 賢介 小林 一三	//	26	38	60. 10

試験研究発表題名一覧表

研 究 室	題 名	著 者 名	書 名	巻・号	ページ	年・月
	スギカミキリの行動習性ならびに林内成虫個体群の消長(2) スギ林内でのスギカミキリ成虫個体群の消長	伊藤 賢介 小林 一三	林業試験場関西支 場年報	26	38	60. 10
	スギ・ヒノキ穿孔性害虫(1) 薬剤および粘着剤バンドによる スギカミキリ成虫の捕殺効果試 験	伊藤 賢介 細田 隆治	//	26	39	60. 10
	粘着バンドのスギカミキリ成虫 に対する粘着・捕獲効果および 産卵抑制効果	伊藤 賢介	日本林学会関西支 部第36回大会講演 集		214~217	60. 10
	スギカミキリ成虫の飛翔行動の 屋外観察	伊藤 賢介	//		218~220	60. 10
	殺そ剤 Zn_3P_2 の分析とアカネズ ミに対する急性中毒症状	田畑 勝洋	日本林学会誌	68 (1)	26~31	61. 1
	マツ伐倒木揮発成分のマツノマ ダラカミキリに対する誘因性	池田 俊弥 山根 明臣 遠田 暢男 尾田 勝夫 横原 寛 伊藤 賢介 大河内 勇	//	68 (1)	15~19	61. 1
	ノウサギによる造林木食害の林 床植生との関係	山田 文雄 田 苗 山本 安英 山本 芳男	大阪営林局昭和59 年度技術開発報告 書	15	38~48	61. 3
	クマハギニホンツキノワグマに よる林木被害	山田 文雄	林業試験場場報	260	2~3	61. 3

(1) 沿革

昭和22年林政統一による機構改革に伴い、林業試験研究機関を整備することになり、同年4月大阪営林局内の試験調査部門を編成組替のうえ農林省林業試験場大阪支場として局内に併置された。

関 西 支 場

- 昭和25. 4 京都市東山区七条大和大路に大阪支場京都分室設置さる
- 昭和27. 7 京都分室を廃止し、そのあとに支場を移転し京都支場と名称を改む
- 昭和28. 2 新たに伏見区桃山町に支場庁舎敷地として国有林の所属替をうけ、同時に桃山研究室を設置
- 昭和31. 3 庁舎・研究室を新築・移転
- 昭和34. 7 関西支場と名称を改む
- 昭和40. 3 研究室等を増改築
- 昭和41. 4 部制設置（育林，保護の2部）
// 防災研究室を岡山試験地から移設
- 昭和51. 11 庁舎・研究室（昭和31. 3新築のもの）を改築
- 昭和57. 12 鳥獣実験室を新築
- 昭和59. 12 治山実験室を新築

岡 山 試 験 地

- 昭和10. 8 岡山県上道郡高島村に水源涵養試験地として設置
- 昭和12. 12 林業試験場高島試験地と名称を改む
- 昭和22. 4 林業試験場大阪支場の所管となり，同支場高島分場と名称を改む
- 昭和27. 7 林業試験場京都支場高島分場と名称を改む
- 昭和34. 7 林業試験場関西支場岡山分場と名称を改む
- 昭和41. 4 林業試験場岡山試験地と名称を改む
- 昭和60. 12 試験地無人化による運営開始

組織, 情報, その他

(2) 土地および施設

1. 土 地

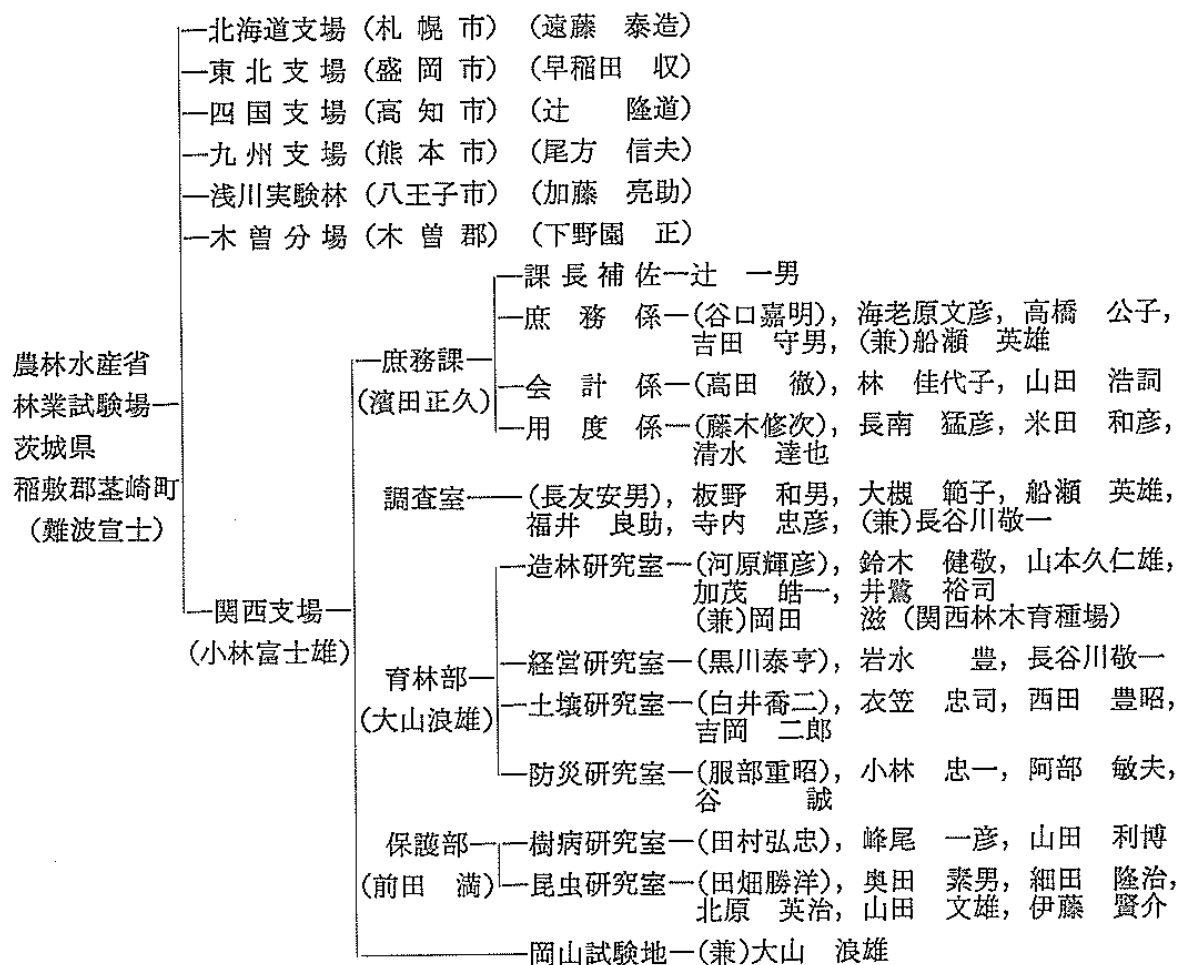
	関西支場	岡山試験地
庁舎敷地	63,212 m ²	13,337 m ²
内 訳		(67,897)
{ 庁 舎	9,917	(1,999)
{ 苗 畑	12,970	—
{ 樹 木 園	5,831	12,787
{ 見本林, 実験林	32,369	(65,898)
{ その他の施設等	2,125	550
宿 舎 敷 地	4,905	—
島 津 試 験 林	7,045	—
宇 治 見 試 験 林	3,812	—
計	78,974 m ²	13,337 m ² (67,897 m ²)—借地

2. 施 設 (延べ面積)

庁 舎	5 棟	2,630 m ²	1 棟	347 m ²
内 訳				
{ 研 究 室 (本館)		1,507		
{ 〃 (別棟)		628		
{ 会 議 室		166		
{ 機 械 室		140		
{ 試 料 室		189		
温 室	2 棟	139		—
ガ ラ ス 室	1 〃	61		—
隔 離 温 室	1 〃	51		—
殺 菌 培 養 室	1 〃	48		—
樹病低温実験室	1 〃	91		—
昆 虫 飼 育 室	1 〃	105		—
鳥 獸 実 験 室	1 〃	139		—
治 山 実 験 室	1 〃	157		—
林木水耕実験室	1 〃	26		—
材線虫媒介昆虫実験室	1 〃	41		—
研究資料調整室	1 〃	64		—
人 工 降 雨 室	1 〃	19		—
連 絡 事 務 所	1 〃	223		—
そ の 他	10 〃	376	7 棟	267
宿 舎	7 〃	558		—
計	36 棟	4,728 m ²	8 棟	614 m ²

(3) 組 織

(昭和61年3月31日現在)



注：() はそれぞれの長

(4) 人のうごき

60. 4. 1付

本場保護部長へ	支 場 長	横 田 俊 一
本場保護部樹病科長へ	保 護 部 長	佐 保 春 芳
本場保護部昆虫科長へ	昆 虫 研 究 室	小 林 一 三
本場総務部会計課経理係へ	庶 務 課	大 木 茂 夫
支場長に	本 場	小 林 富 士 雄
育林部長に	九 州 支 場	大 山 浪 雄
保護部長に	北 海 道 支 場	前 田 満
保護部昆虫研究室長に	本 場	田 畑 勝 洋
庶務課庶務係に	本 場	海 老 原 文 彦

60. 5. 1付

育林部造林研究室に	本 場	井 鷲 裕 司
-----------	-----	---------

組織, 情報, その他

60. 12. 1付

育林部防災研究室に

岡山試験地

小林 忠 一

61. 3. 31付

退 職

造林研究室

鈴木 健 敬

//

土壌研究室

衣 笠 忠 司

庶務課用度係採用

清 水 達 也

調査室採用

寺 内 忠 彦

(5) 会 議 の 開 催

1. 関西地区林業試験研究機関連絡協議会

関西支場、四国支場の研究対応地域に含まれる2府16県の公立林業試験研究機関の場所長、および国立林試関西支場・四国支場長ならびに関西林木育種場長、同山陰支場長・四国支場長を会員として構成された協議会であり、年1回総会を開催する。

60年度は第38回総会として5月31日、愛媛県大三島町で開催された。活動中の8研究部会の経過報告と次年度の研究計画について協議を行い、また、地域バイオテク等の研究推進について要望を関係機関に提出することを決議した。

2. 関西・四国ブロック技術開発連絡協議会

大阪、高知両営林局管内における国レベルの林業関係機関による技術開発推進のための協議会であり、大阪・高知両営林局、関西林木育種場、同山陰・四国両支場、国立林試関西・四国両支場の機関が参加している。

60年度は第3回目の協議会にあたり10月11日、大阪営林局大会議室で開催された。「広葉樹の天然林施業および複層林施業」、「スギカミキリムシ被害の防除について」の2課題を中心に討議が進められた。

3. 林業技術開発推進近畿・中国ブロック協議会

この会議は、林業技術開発推進協議会運営要領に基づいて毎年開催されるもので、関西支場は近畿・中国ブロック協議会に属し、この協議会を総括することになっている。

60年度は13回目の協議会であり、当支場会議室で10月24日に開催された。会議への出席者は2府12県の林務部局行政担当者、および林業試験研究指導機関の職員、大阪営林局から技術開発室長・企画官、関西林木育種場長、同山陰支場長であった。なお、林野庁からは研究普及課牧研究企画官、林業試験場（本場）から山口調査部長、支場からは支場長ほか部長・全研究室長と事務局として調査室係員が出席して行われた。

会議は、まず林野庁、林業試験場のあいさつの後、議事に入り、59年度提案の20課題についてその処理経過が林野庁から報告された。ついで60年度の府県提案の開発課題が討議されたが部門別の主な課題は次のとおりである。経営部門；森林の最適利用計画の策定にかかる利用意識に関する研究ほか1課題、造林部門；複層林施業技術体系に関する研究ほか8課題、保護部門；松くい虫被害先端地域における被害拡大防止法に関する研究ほか2課題、特産部門；木材腐朽きのこ類の栽培化に関する研究ほか10課題、林業機械部門；急斜面における多工程処理機械の開発に関する研究、の5部門26課題である。

これらの課題の中で今年度は組織培養による植物の増殖、細胞融合による菌根性きのこの育種などバイオテク関連の課題が多く提案され、全課題数26のうちその半数に近い12課題がバイオテクに

関連した課題であった。また、参加機関14府県のうち12府県からバイテク関係の課題提案が行われ、研究への参加と、地域バイテク研究開発促進化事業の拡大が強く要請された。

4. 関西地域研究推進会議

関西地域研究推進会議は3月18～19日、本場より浅川造林部長の出席を得て開催された。

会議の初日は、従来からの業務報告会形式によって研究成果報告書に基づいて研究推進の成果、研究推進の問題点などについて報告、討議が行われた。この中で、推進目標の小課題の新設、小課題間の研究重複の調整、細部課題設定による小課題の不整合の調整などが検討され、小課題は改善されることとなった。

2日目は、まず、特別検討項目である「都市近郊林における針広混交問題」について、各研究部門から「都市近郊林の有用場面」、「針広混交林の機能評価」、「針広混交林造成上の問題点」などの話題報告がなされ、検討を行った。ついで、重点研究素材5課題についての討議を行い、支場としての対応を検討した。

(6) 受託研究等調査・指導

用 務	委 託 者	用 務 先	実 施 月 日	出 張 者	
				研究室	氏 名
山地災害危険地の調査及び調査手法に関する指導	林業土木コンサル タツ大阪支所	和歌山県花園村	60. 9. 6～7	防 災	谷 誠
「海外の林業事情から見た日本林業」講演	福井県農林水産部	福井県三方町	60. 9. 26～27	保護部長	前田 満
林業情報システム化対策事業システム導入実態調査	全国林業構造改善 協会	群馬県下仁田町	60.10.17～20	経 営	黒川 泰亨
山地災害危険地対策事業調査	林業土木施設研究 所	尾道市	60.10.23～24	防 災	谷 誠
山地災害危険地の調査及び調査手法に関する指導	林業土木コンサル タツ大阪支所	和歌山県橋本市	60.11.19	//	//
しいたけ原木需給安定調査	日本林業技術協会	豊岡市	60.11.21～23	経 営	黒川 泰亨
//	//	和歌山市	60.12. 2～4	//	//
//	//	奈良県田原本町	60.12.12～14	//	//
//	//	福知山市	61. 1. 9～11	//	//
//	//	宇都宮市	61. 2.12～13	//	//
林業情報システム化対策事業システム導入実態調査	全国林業構造改善 協会	群馬県下仁田町	61. 3. 5～7	//	//

(7) 当 場 職 員 研 修

氏 名	研 修 先	研 修 期 間	研 修 内 容
井 鷲 裕 司	林業試験場関西支場	60. 5. 1～ 9.30	昭和60年度新規採用研究員研修
伊 藤 賢 介	パル外語教室	60. 9. 3～ 12.12	英語研修
山 田 利 博	//	60. 9. 3～ 12.24	//
加 茂 皓 一	//	60. 9. 9～61. 1.17	//
板 野 和 男	国際協力事業団国際協力総合 研修所	60. 9. 9～ 11.22	昭和60年度派遣前専門家等中期 研修

組 織, 情 報, そ の 他

(8) 技 術 研 修 受 入 れ

氏 名	所 属 機 関	研 修 期 間	研 修 内 容
梅崎 康典	徳島県林業課	60. 8. 5~9. 28	造林保育の調査等の電算処理技術, 基本的なプログラムの作成
国分 義彦	兵庫県立林業試験場	61. 2. 17~3. 8	樹木病原菌の分離培養および同定

(9) 海 外 出 張

氏 名	出 張 先	出 張 期 間	研 究 課 題
服部 重昭	ブラジル	60. 8. 26~10. 12	ブラジル・サンパウロ林業研究協力計画
鈴木 健敬	ケニア	61. 1. 6~ 1. 28	ケニア林業育苗訓練技術協力計画

(10) 見 学 者

		内 訳						計
		国	府 県	大 学		林業団体	一 般	
国 内	件 数	56	28	9		24	12	129
	人 数	105	84	39		78	16	405
国 外	件 数	台湾 (16), 中国 (15), タイ (6), アメリカ (3), ブラジル (3), 韓国 (2), ニュージーランド (1), アルゼンチン (1), インドネシア (1), オーストラリア (1), スリランカ (1), チリ (1),						20
	人 数							51

(11) 試験地一覧表

試験地名	営林署	担当区	林小班	樹種	面積 (ha)	設 年 定 度	終了予 定年度	担 当 研究室
高取山スギ人工林皆伐用材林 作業収穫試験地	奈良	下市	56ほ 49ほ	スギ	0.60	昭10	昭75	経営
高取山ヒノキ人工林 //	//	//	56ほ	ヒノキ	0.40	//10	//72	//
高野山スギ人工林 //	高野	高野	31ろ	スギ	0.17	//10	//68	//
高野山ヒノキ人工林 //	//	//	31ろ 44に	ヒノキ	1.07	//10	//88	//
滝谷スギ人工林 //	山崎	西谷	136に	スギ	2.25	//11	//95	//
御弁当谷ヒノキ人工林 //	亀山	北勢	37に	ヒノキ	0.98	//12	//	//
新重山ヒノキ人工林 //	福山	井関	49と	//	1.05	//12	//91	//
遠藤スギその他択伐用材林 //	津山	上齊原	39ろ	スギ	1.67	//12	//132	//
西山アカマツ天然林皆伐用材林 //	西条	大草	1,032い	アカマツ	1.02	//12	//71	//
滑山スギ人工林 //	山口	滑	11り	スギ	1.60	//13	//61	//
奥島山アカマツ天然林画伐用材林 //	大津	八幡	79は	アカマツ	4.26	//13	//92	//
地獄谷アカマツ天然林その他択伐 用材林 //	奈良	郡山	17わ	アカマツ スギ・ヒノキ	1.73	//15	//117	//
篠谷山スギ人工林皆伐用材林 //	倉吉	根雨	1,015い	スギ	0.80	//34	//88	//
茗荷渕山ヒノキ人工林 //	橋宮	飛鳥第 二	41へ	ヒノキ	0.17	//35	//125	//
白見スギ人工林 //	//	新宮	5ほ	スギ	1.24	//37	//106	//
六万山スギ人工林 //	金沢	白峰	55は	//	0.79	//37	//120	//
福山保育形式試験地	福山	上下	16へ	アカマツ	2.25	//33	//69	造林
吉永植栽比較試験地	岡山	和気	1,005ほ	スギ外5	1.54	//41	//71	//
スギ山崎短期育成試験地	山崎	蔦沢	25へ	スギ	1.69	//37	//69	//
アカマツ福山 //	福山	三和	108ぬ	アカマツ	1.75	//37	//69	//
材質育種福山試験地	//	総領	119へ	//	3.17	//42	//71	//
馬乗山試験地	//	山野	69ち	スギ・ヒノキ	6.50	//43	//70	//
林地肥培高野試験地	高野	高野	4い	スギ	0.16	//46	//71	土壌
先行肥培によるヒノキ育林試験地	西条	大草	1,026に	クロマツ ヒノキ	0.32	//39	//70	//
竜の口山量水試験地	岡山	岡山	11ほ・に・は	アカマツ外	44.99	//10	//72	防災
小関林内更新試験地	大津	大津	15ら	ヒノキ	2.10	//55	//65	造林
焼尾試験地(ヒノキ)	亀山	阿山	72に	//	0.15	//59	//69	土壌
青岳試験地(ヒノキ)	//	//	81ほ	//	0.30	//59	//69	//
複層林施業試験地	大津	大津	20わ1	//	0.24	//59	//69	造林
竹林施業技術の改良試験地	京都	木津	523い	マダケ	0.31	//60	//65	土壌
針広混交誘導試験地	神戸	箕面	72ほ・り	ヒノキ	1.50	//60	//70	造林

組織, 情報, その他

(12) 気象年表

60年 月	気 温 ℃ 120cm							気 温 ℃ 10cm							気温別日数 120cm				
	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起 日	最低	起日	平均 9 h	平均 最高	平均 最低	最高	起日	最低	起日	最 高		最 低		
															< 0℃	≥ 25℃	< -10℃	< 0℃	≥ 25℃
1	1.0	7.9	-1.0	11.0	2,19,20,23	-5.0	15,31	0.5	6.7	-1.2	9.5	23,27	-5.0	31					21
2	4.5	9.6	1.9	13.0	2,4,9,10	-3.0	22,24	3.9	8.5	1.8	13.0	7	-2.5	22,24					8
3	7.4	12.8	3.8	20.0	29	-0.7	4	6.5	11.7	8.1	18.0	28	0.0	4					1
4	14.5	20.9	8.3	28.5	30	1.0	21	11.9	20.4	8.0	26.5	30	1.5	2		4			
5	19.8	24.2	14.2	31.5	4	10.5	11	18.2	24.0	12.7	28.5	4	8.5	1		18			
6	18.4	26.0	18.4	32.5	6	13.5	6	20.3	24.6	16.8	31.0	6	12.0	5		20			
7	27.2	32.7	22.1	38.8	30	18.4	16	25.0	30.7	21.8	36.8	30	17.8	16		30			2
8	30.4	34.5	24.6	38.0	3,17	20.0	25	28.6	34.9	23.7	37.7	18	19.0	25		31			15
9	24.9	29.9	21.0	39.1	3,6	15.0	27	23.3	28.5	20.2	37.7	3,7	14.2	27		25			3
10	17.0	23.4	16.8	26.9	1,3	8.7	27,28	15.5	21.5	12.0	29.2	13	7.1	27		12			
11	11.0	16.4	7.3	23.2	1	0.6	30	9.2	14.5	9.8	21.2	1	-1.0	30					
12	3.8	10.5	1.6	16.4	5	-1.7	25,29	1.8	8.3	-0.2	13.8	5	-3.7	29					
年																140			10
極値				39.1	9/3,6	-5.0	1/15,31				37.7	8/18,9/3,6	-5.0	1/31				40	20

60年 月	湿 度 %			降 水 量 (mm)					量 別 降 水 日 数					
	平均 9 h	最小	起日	総 量	最大 日量	起日	最大1 時間量	起日	≥ 1 mm	≥ 10 mm	≥ 30 mm	≥ 50 mm	≥ 100 mm	≥ 300 mm
1	75.3	19.0	19	15.5	5.0	3			4					
2	74.5	25.0	13	98.5	47.5	9			2	2	1			
3	69.0	14.0	24	188.5	41.5	9			5	4	2			
4	58.9	15.0	25	178.5	37.5	11			2	8	1			
5	61.7	16.0	1	102.5	34.5	20			8	2	1			
6	70.0	18.0	6	349.5	137.0	25			6	4	3			1
7	70.3	29.0	16	226.5	52.5	3			5	7	1	1		
8	58.2	17.4	24	8.0	3.5	31			4					
9	72.2	22.7	6	140.5	31.0	29			4	4	1			
10	66.7	28.0	3	39.5	14.0	5			7	1				
11	72.0	25.4	11	56.0	19.0	22			7	2				
12	75.8	28.0	12	37.0	15.0	6			2	2				
年	68.7			1,440.5										
極値		14.0	3/24		137.0	6/25			56	36	10	1	1	

年報編集委員会

前	田	満
長	谷川	敬一
服	部	重昭
北	原	英治

昭和61年9月25日 印刷

昭和61年9月30日 発行

発行所 農林水産省林業試験場関西支場

〒612 京都市伏見区桃山町永井久太郎官有地

(075) 611-1201

印刷所 中西印刷株式会社

〒602 京都市上京区下立売小川東入

電話 075-441-3155 (代表)